

令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号による災害の支援に関する要望書

令和5年6月2日から3日にかけて台風第2号及びそれに伴う前線の活発化により、本市は総雨量289ミリの未曾有の降雨により、市民の生活や農業分野に関して市内のいたるところに大きな爪痕を残しました。

特に、農地及び園芸ハウス等の生産基盤に大きな打撃を受け、冠水により根腐れや疫病等が発生している状況です。日本一の野菜生産量を誇る本市の基幹産業に大きな影響を受けました。

また、広い範囲での道路の冠水や法面の崩壊により多数の通行止め路線があり、円滑な交通の妨げになりました。

さらには住宅の床上、床下浸水が発生し雨水の汲み上げや避難を余儀なくされました。

このような折り、市議会にも多くの市民から大雨被害による窮状を訴える声が寄せられております。

つきましては、市民がいち早く安心して生活できるよう、下記のとおり要望いたしますので、特段のご配慮を賜りたく慎んで申し上げます。

記

1. 復旧に必要な予算については十分な財政支援を図ること。
2. 県補助制度について手続きの簡素化と市負担分の免除及び追加支援を図ること。
3. 被害を受けた生産者への補償の充実と経営安定に向けた支援を図ること。
4. 河川管理の抜本的な見直しと整備計画の推進を図ること。
5. 土地改良区及び任意の水利組合の管理している農業用水路、ため池の復旧に対する支援を図ること。
6. 被災者の生活基盤回復のための各種支援を図ること。

以上

令和5年6月9日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

茨城県鉾田市議会議長 岩間 勝栄